

横浜市立大鳥小学校 令和2年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
やさしい子・かしこい子・たくましい子 はばたく子の育成	言語能力 自分づくりに関する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○「学ぶ楽しさ」「創り出す喜び」を感じる授業を展開するために、学習の基礎・基本を身に付け、それらをもとに活用探究していく力を育てるとともに、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。</p> <p>○ボランティア大鳥、本読みの会、学援隊、幼稚園児、中学生等との交流、保護者ボランティアの活動などを充実させ、仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通し、人と共に生きる大切さを理解し、地域に愛着がもてる子、地域への参画意識を育てます。</p> <p>○「学力向上」「児童指導」「特別活動の充実」「地域連携」を重点に、様々な現代的課題に対応できる力を育てます。</p>

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
学力向上	○国語科の授業改善を研究の核にすえ、言語環境の充実に努め、言葉を通して人とかかわる力、自らを表現する力を養う。○言語能力(話す・聞く力、書く力、読む力)を、具体的な子どもの姿でとらえていく。○確かな言語能力を習得する単元構成の在り方を探究する。
担当	重点研推進委員会

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要

学力の傾向は学年によってばらつきが見られる。学力層の観点から全児童を総合してみると、市の平均と学力層の割合は、ほぼ同じ水準と言える。各教科をみると、国語、社会、理科の学力と学習意識は横浜市の平均程度、算数の学力については平均をやや下回る結果となった。

(2) 教科学習の状況

学力の「基礎・基本」の力が横浜市平均より若干低いという現状から、基礎・基本の習得を確実に進行丁寧な指導や、繰り返し行うスキル学習を重視し、家庭との連携をとり家庭学習の充実にも努める必要性を感じている。教科指導については、国語の研究を核に据え、全職員で共通理解を図りながら、児童に付けたい力を明確にして指導している。校内だけではなく広く外部へ向けても授業を伴う研究を公開しており、組織的に授業力向上に取り組んでいる。また、地域や保護者の協力を得ながら、読書や伝統文化教育などについて充実を図っている。国語学習だけでなく、他教科においても子ども自身の学習意欲が高まるような工夫を図っていききたい。なかでも社会科や理科では、社会的現象や科学的現象について、身近で具体的なものを取り上げることで、学習内容を効果的に身につけられるように心がけている。

(3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

平成23年度からの学力の経年変化では、少しずつではあるが全体的に上向きになってきており、以前は5~10ポイントほど市の平均より下がっていたが、ようやく市の平均程度に向上してきた。「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」という「自己意識」については、昨年度よりさらにポイントを上げ、市の平均を超えてきている。また、昨年同様「誰かの役に立つ人になりたい」「人の気持ちを考えて行動するようにしている」「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「人とかかわることが好き」という項目では市の平均よりも高い。これまで、異学年との関わりや体験学習の取組など、相手意識をもって児童が作り上げる活動を積み重ねてきたが、今後も自分自身が評価される場面を大切に、自尊感情(自己肯定感・自己有用感)を高めていきたい。

3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	身近な事象に積極的に関わる態度 身近な語彙の豊かさ 感じたことを言葉にする力 自分なりのイメージをもつ力 事実を大まかに捉える力 言語の面白さへの気付き	<p>○国語では、相手に分かるように伝えること、言葉を大切に読むことができるように基礎基本の習得を大切にしていく。</p> <p>○算数では、基礎的事項を理解できるように思考力を高めるため、既習事項を生かして、課題を自分なりに解決しようとする態度を身に付けさせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での自力解決の時間の保障をする。 ・単元の目標、本時のねらいを明確にし、課題提示や助言の工夫をする。 ・ドリルやプリント、小テストなどを継続的に実施する。 ・指示は少なく、子ども同士の声かけをじっくり待つ。 	
2年		<p>○国語では、日記やふり返りカードで主語と述語の結びつきや内容のまとまりが明確になる文を書くように指導をしていきたい。また自分や友達が書いた文を読むことで、読み返して間違いを正す習慣をつけたり、内容や表現の良さを共有できる場を多く設定したりして、書く力の向上を図っていく。</p> <p>○算数では、1つの面に着目するのではなく、動かしたり写し取ったりすることで複数の形の面があることを体験的に捉えられるようにしていきたい。どの領域も他領域の基本的な理解を活用して、考え方や手立てへ繋げるので、ドリル学習や宿題プリントを通して基礎・基本の定着を図り、問題文から読み取れることを自分の言葉や絵・図で表すよう指導を行い更なる学力の向上を図っていく。</p>	
3年		<p>○国語では、音読の練習量を増やしたり、読書活動の充実を図ったり、読む能力の育成につながる取組みを増やしていきたい。また、「活用」の力をつけるために、学習の中で活用問題に触れる機会を増やして、活用力を伸ばしていく。</p> <p>○算数では、文章問題や基礎・基本を使った活用問題にも適応できる力をつけていく。具体的には、授業の中で活用問題に取り組む時間を確保したり、自分の考えを友達に発表する機会を多くしたりするなど、数学的な考え方を高めて、活用力もつけていく。</p>	

<p style="text-align: center;">3 年</p>	<p>事実等を解釈し自分の考えを形成する力 相手の思いを受け止めて聞く力 伝える内容を明確にする力</p>	<p>○社会科では、知識を定着させていくために、授業の中で問題意識をもつような場面を数多く設定し、資料から読み取ったことをもとに思考を働かせることを意識した指導を進めていきたい。地域の特徴を実際に目で見て確かめたり、商店街の仕事を体験したりして、一人ひとりが学習課題に対して考えをもてるよう指導していく。</p> <p>○理科では、知識を定着させていくために、日常の体験と観察や実験を結び付け、実感を伴って理解を深められるよう指導していく。</p>	
<p style="text-align: center;">4 年</p>	<p>メタ認知する能力 感想語彙の豊かさ 互いの考えの違いへの気づき 事実等を解釈し自分の考えを形成する力</p>	<p>○国語の「言語についての知識・理解・技能」では、漢字練習などの文字の練習を繰り返すだけでなく文章を書く際に学習した漢字や語彙を積極的に使えるようにする。「読む能力」では、文学的な文章の場面展開を理解して、必要な情報を判断したり言語活動に必要な読み方で自分の考えをまとめたりする指導する。「話すこと・聞くこと」では、日頃から話し手の伝えたいことは何かを考えながら聞けるよう指導する。また、相手や目的を意識して、自分の考えを伝えるために必要な事例を選んだり、話す順序を考えたりする指導をする。</p> <p>○算数では、具体的な場面に対応させながら、数量関係に着目して理解を深めるとともに、簡潔・明瞭・的確に表すことのできる式のよさを実感できるようにしたい。また、知識を活用して処理したり問題解決をしたりするような指導や、互いの考えを表現する場を多く設定した学習活動を多く取り入れ、具体的な場面をもとに考える楽しさや答えを出す楽しさを味わわせ判断力の向上を図っていく。</p> <p>○社会科では、知識を定着させていくために、授業の中で問題意識をもつような場面を数多く設定し、資料の読み取り方を理解させ、読み取ったことをもとに思考を働かせることを意識した指導を進めていく。</p> <p>○理科では、実験の結果を正しく読み取ることや、観察や実験を正確に記録し、複数の観察や実験の結果をもとに、条件や規則性を考えたり、考えたことを目的に合わせ、分かりやすく表現したりする。日常生活と結び付けて理解を図るような授業をこれからも心がける。</p>	

<p style="text-align: center;">5年</p>	<p>言語の豊かさへの気付き 目的や意図に応じて伝えるべきことを整理する力 対話することで自分の考えを深める力 思考語彙の豊かさ 他者に的確に分かりやすく伝える力 豊かな表現で生き生きと伝え合う力</p>	<p>○国語では、漢字の練習や朝のスピーチなど、基礎・基本を大切に指導していくことで、学習をより定着させていく。</p> <p>○算数では、スキルタイムや家庭学習において反復して計算問題に取り組んだり、じっくり問題と向き合い、数直線や図を用いて立式したりするなど、繰り返し学習することを大切にすることで、学んだ内容を定着させ、活用してけるようにする。</p> <p>○社会科では、資料から分かったことを整理し、知識として蓄積していくことで、学習がさらに広がるように指導を進めていく。</p> <p>○理科では、実験の予想と結果とを照らし合わせ、分かったことを考察していく過程を大切に指導していくことで、さらなる課題を見つけたり、日常と結び付けて事象を捉えたりすることができるよう学習を進めていく。</p>	
<p style="text-align: center;">6年</p>		<p>○国語では、これまで培ってきた力を、自分の思いや考えや伝えるために必要な力として認識できるようにし、他との交流を通して、生活に根差した生きた言語能力を育てていく。</p> <p>○算数では、日常の事象を数理的にとらえ、見通しをもち筋道を立てて考えを表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を確かなものにしていく。</p> <p>○社会科では、複数の資料を組み合わせることで読み取ることのできる事実をもとにして友だちと考えを交流し、自分の考えや思いを深め、広げ、表現していく力を伸ばしていく。</p> <p>○理科においては、予想や仮説を立てて検証方法を考察する場面において推論する力を伸ばし、実験や観察を通して事象を確かめる学習活動を行っていく。</p>	
<p style="text-align: center;">個別支援学級</p>	<p>身近な事象に積極的に関わる態度 身近な語彙の豊かさ 自分なりのイメージをもつ力</p>	<p>○国語では、自分の思いや考えを適切な言葉で相手に伝えることなどができるように、適切な語彙を獲得し、他人と良いコミュニケーションが取る練習を学習の時間と日常生活の中で繰り返し行い、日常生活で活用できるようにする。</p> <p>○算数では、数量感覚を身に付けることや具体物を操作し計算の意味を考えることを大切にして、学習内容を日常生活で活用することができるようにする。</p> <p>○自立活動では、要求や自分自身の気持ちを伝えることができるように、学習の時間と日常生活の中で繰り返し練習を行い、日常生活で活用することのできるコミュニケーション能力を身に付けられるようにする。</p>	